

アスファルト密度計 ペイブトラッカーPlus

メーカー TROXLER 測定項目 アスファルトの密度



アスファルト敷設時の転圧後密度や空隙率の測定に使用できます。事前に現場でコア抜き試験を行っていただき、その試験結果を補正值として機械に入力して測定を行います。

規格	ASTM D7113
動作温度	表面温度:175℃(最大)
表示部	LCDディスプレイ(4列×20文字)
データ記憶	約999点 ※1点あたりのデータ容量により多少前後
測定深さ	50mm
測定時間	2秒
測定精度	±0.20pcf(±3.2kg/m3)
基準片	ケース内に付属
キャリブレーション	コア抜き測定及び放射線測定による
電池寿命	32時間
充電時間/電圧	2時間/100V
寸法(本体)	230(W)×410(D)×160(H)mm

付属品	ハンドル、固定ピン、ACチャージャー、ACコード、DCアダプタ、シリアルケーブル、サーマルプリンタ、プリンタ用接続ケーブル、プリンタ用バッテリー、プリンタ用ACアダプタ、プリンタ用ACケーブル
消耗品	記録紙

NETIS 登録番号: KTK-160019-VE

JIS型現場密度測定器 S-207

メーカー 西日本試験機 測定項目 土の密度



現場における土の単位体積を乾砂で置換し、土の体積を間接的に測定する装置で、粘性土、非粘性土又はレキ混ざり土のいずれの場合にも適用します。

適用規格	JIS A 1214(日本工業規格(案)砂置換法による土の密度試験方法)
ジャー容量	4リットル

◆概要

土の密度を求めるには、土の質量と体積の測定が必要ですが、現位置において土の体積を直接測定することは困難な場合が多いため、土の体積をはかる方法として他の材料と置き換える方法が用いられます。砂置換法土密度試験は、試験孔から掘り取った土の質量と、掘った試験孔に充填した砂の質量から求めた体積を利用し、現位置の土の密度を求める試験です。

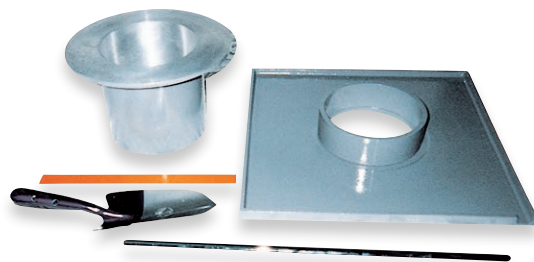
◆特長

- ・現位置の土と砕石の密度を求めることができる
- ・試験を行うことのできる土の最大粒径は53mm以下
- ・1ヶ所につき3回の試験を行い、平均値を求める
- ・試験機具の設置で孔壁が崩れるような場所では、試験を行えない

付属品	ジャー、ベースプレート、計量マス、プレート、スコップ、ストレートエッジ
消耗品	基準砂(25kg/1袋)
備考	測定には、電子はかり(最小1g、最大12kg以上)と基準砂が必要となります。電子はかりは本カタログP231～P232をご確認ください。基準砂は、必要に応じてご注文ください。

公団型現場密度測定装置 S-209a/S-209b

メーカー 西日本試験機 測定項目 土の密度



日本道路公団規格に準拠した簡易現場密度測定器で、幅広い土質に対して適用します。

- ・S-209a 細粒土用 穴型φ150mm 最大粒径50mm以下
- ・S-209b 粗粒土用 穴型φ250mm 最大粒径100mm以下

型式	S-209a	S-209b
適用規格	JGS 1611(地盤工学会基準(案)突き砂による土の密度試験方法)	
許容最大粒径	50mm	100mm
孔の径	150mm	250mm
孔の深さ	150mm	200mm
突き回数	15回	35回

◆概要

規定の方法で突くことで一定の密度が得られることを確認した砂を、対象となる試験孔の土と置き換えることによって体積を求める方法。

付属品	S-209a ベースプレート(φ150mm)、標準容器(φ150mm)、突き棒、スコップ、カラーリング(φ150mm)、ストレートエッジ
	S-209b ベースプレート(φ250mm)、標準容器(φ250mm)、突き棒、スコップ、カラーリング(φ250mm)、ストレートエッジ
消耗品	基準砂(25kg/1袋)
備考	測定には、電子はかり(209a:最小1g、最大12kg以上 209b:最小1g、最大30kg以上)と基準砂が必要となります。電子はかりは本カタログP231～P232をご確認ください。基準砂は、必要に応じてご注文ください。

音響・振動計測器

検知器

水質測定器

粉じん計・風速計

鉄筋探査・コンクリート試験

探傷・厚さ・膜厚・硬度

その他非破壊検査機器

気象・水文観測機器

土質試験機

電子天秤・その他はかり

通信・安全管理機器

その他測定器

測量機

レーザー測量機・墨出器

その他測量機器

自動計測システム